

JHRS-COVID対策アンケート

日本不整脈心電学会
COVID-19対策ワーキンググループ

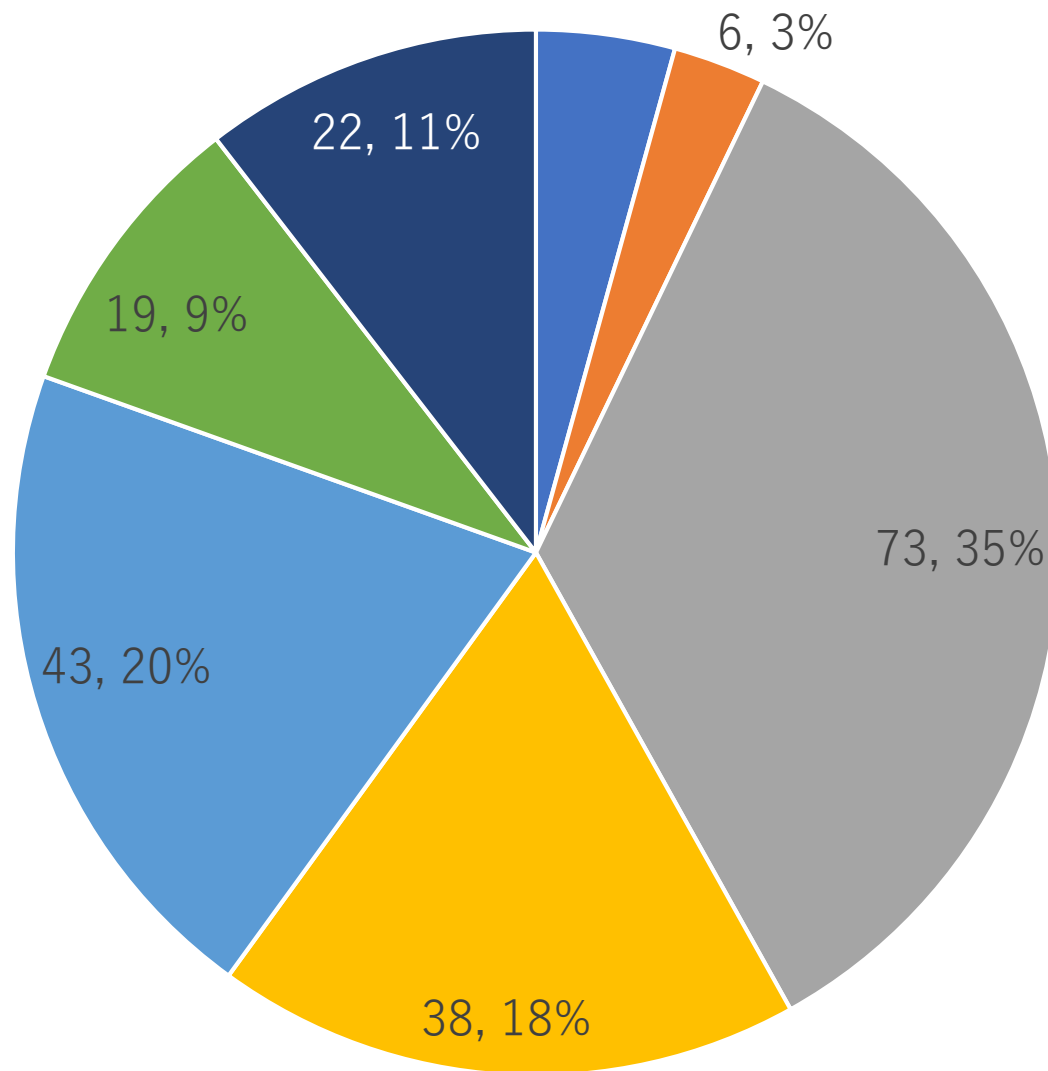
里見 和浩（東京医科大学病院不整脈センター）
渡邊 英一（藤田医科大学ばんだね病院循環器内科）
高月 誠司（慶応義塾大学病院循環器内科）
深水 誠二（東京都立広尾病院循環器科）
岩崎 雄樹（日本医科大学付属病院循環器内科）
竹内 大二（東京女子医科大学循環器小児科）

調査概要

- 調査期間：2020年5月11日～18日
- 調査方法：日本不整脈心電学会不整脈専門医を対象に電子メールで依頼、Google Formを用いたWebアンケート、複数の専門医が在籍している場合、1施設1回のみとした

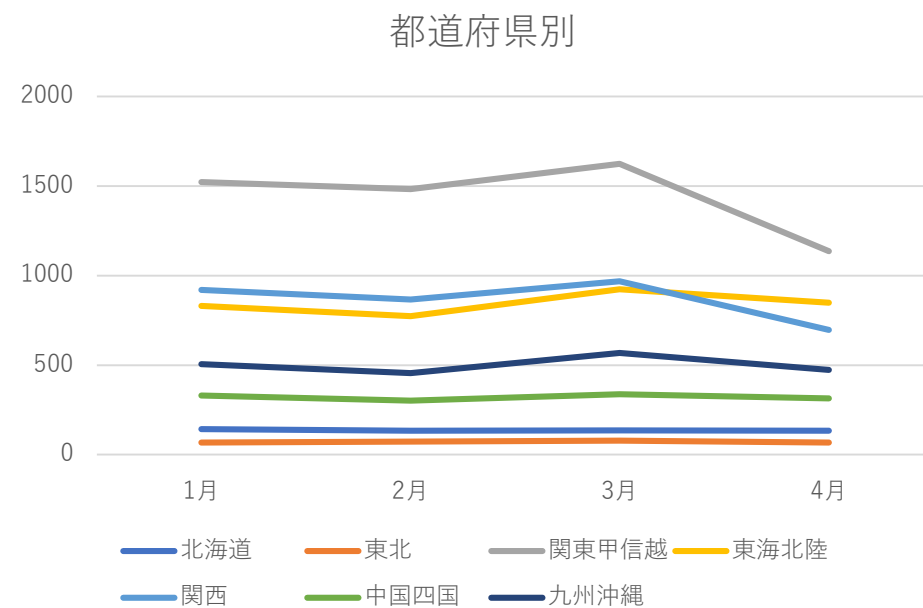
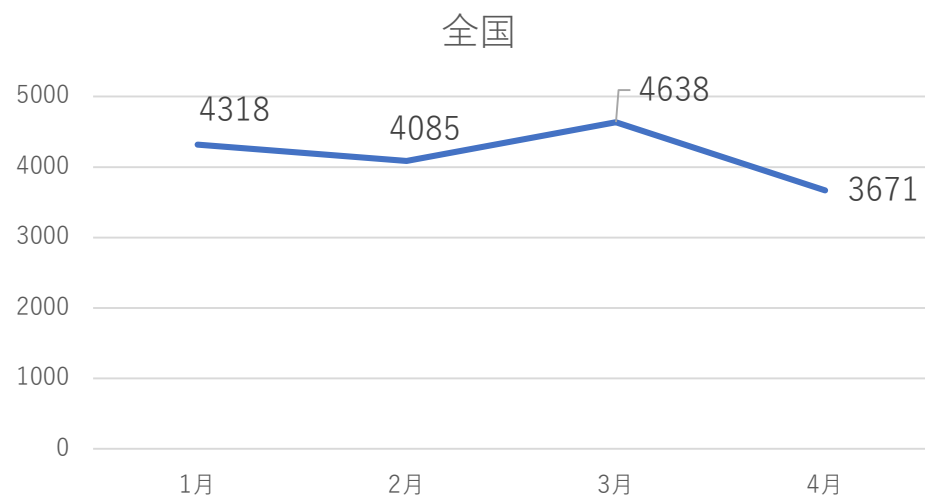
回答施設

N=218

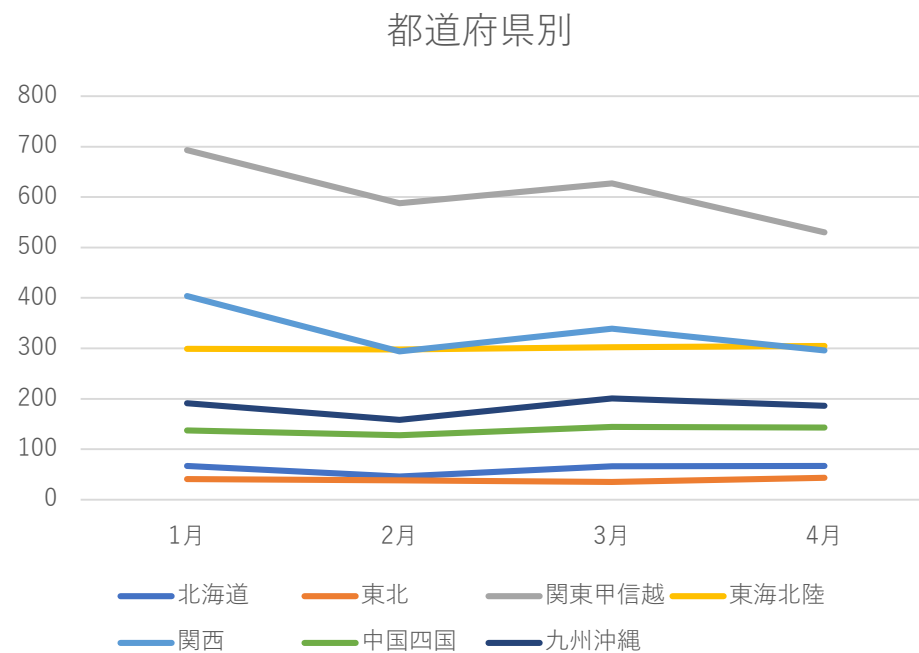
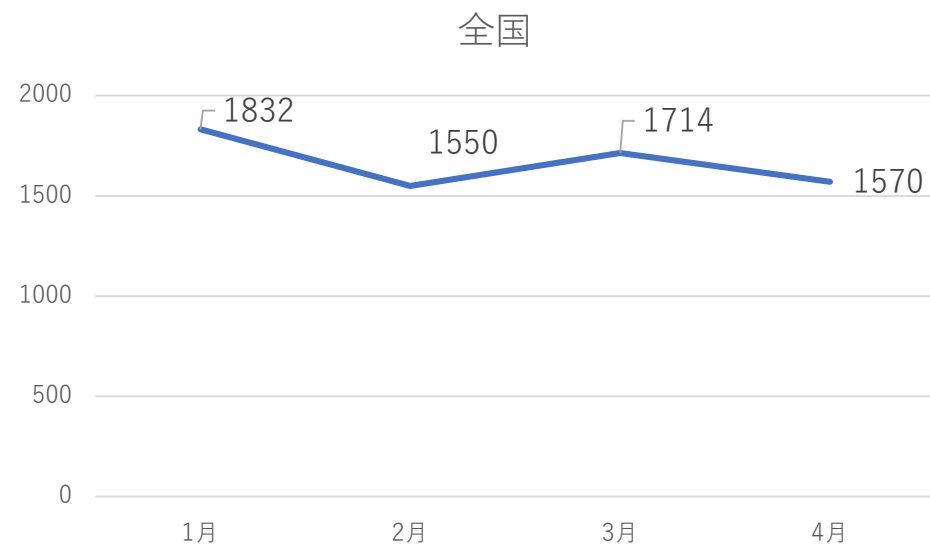


■ 北海道 ■ 東北 ■ 関東甲信越 ■ 東海北陸 ■ 関西 ■ 中国四国 ■ 九州沖縄

アブレーション件数（2020年1月～4月）



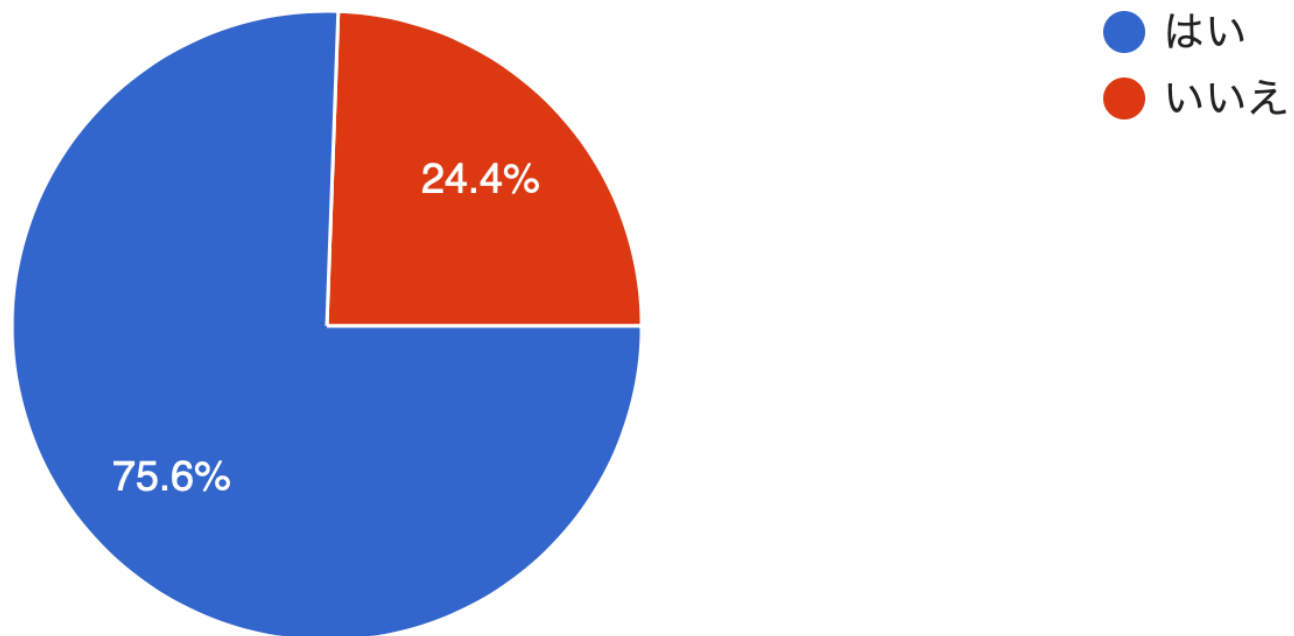
デバイス件数（2020年1月～4月）



COVID診療の有無

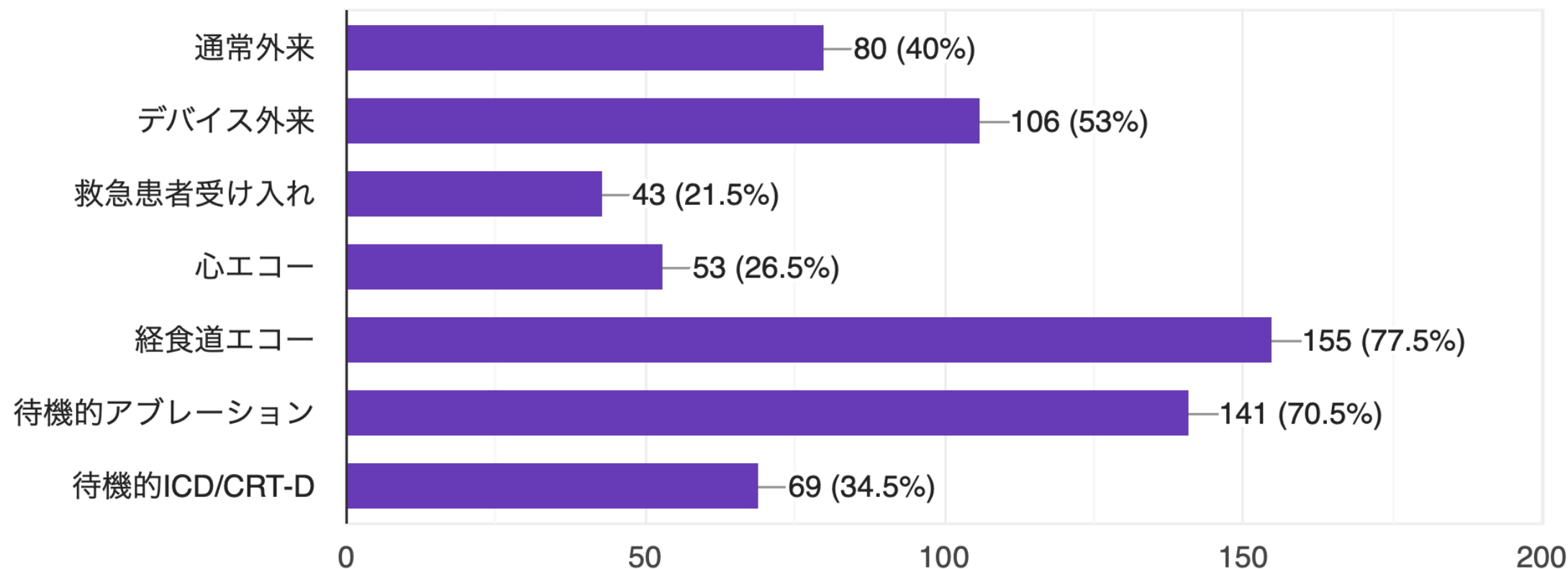
COVID-19の患者の入院受け入れを行なっていますか？

217 件の回答

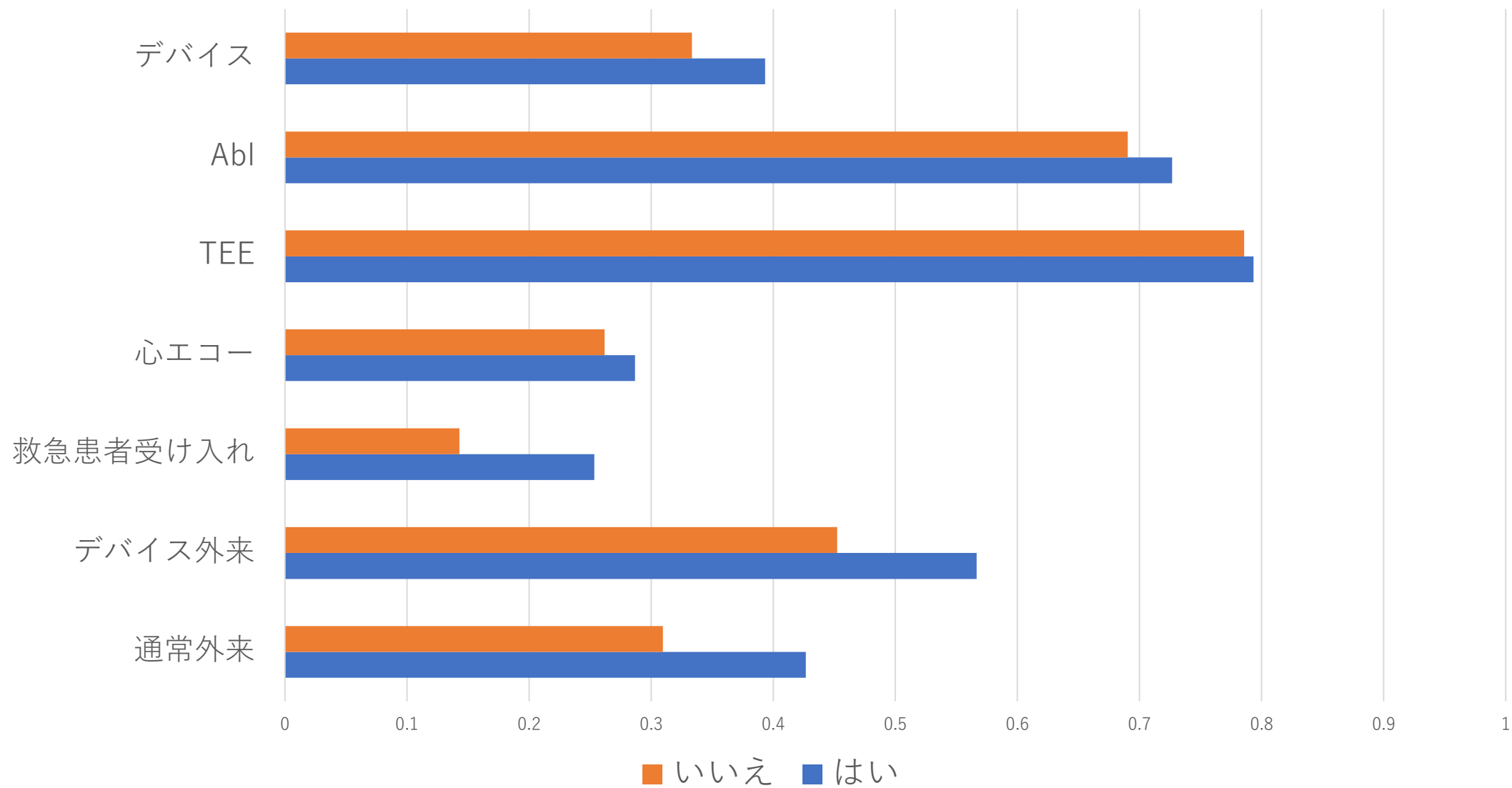


緊急事態宣言以後、貴院で以下のうち制限しているものにチェックしてください

200 件の回答



COVID-19患者受け入れ有無による診療制限



J-ABカテーテルアブレーション登録数の変化から見た 不整脈医療におけるCOVID-19の影響

日本全体

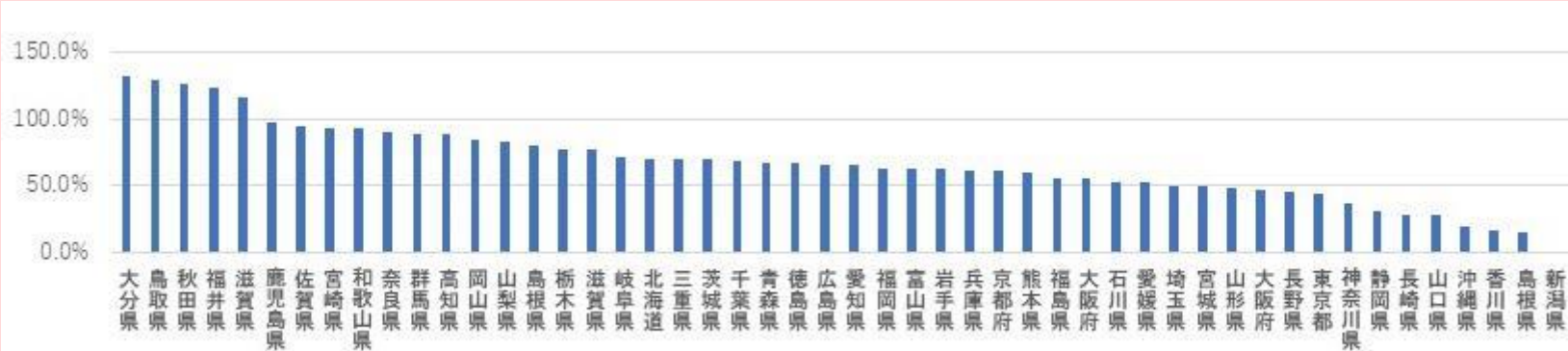
1-3月：17840 cases (5947 / Mo)

4月：3556 cases



3556 / 5947 = **59.8%**

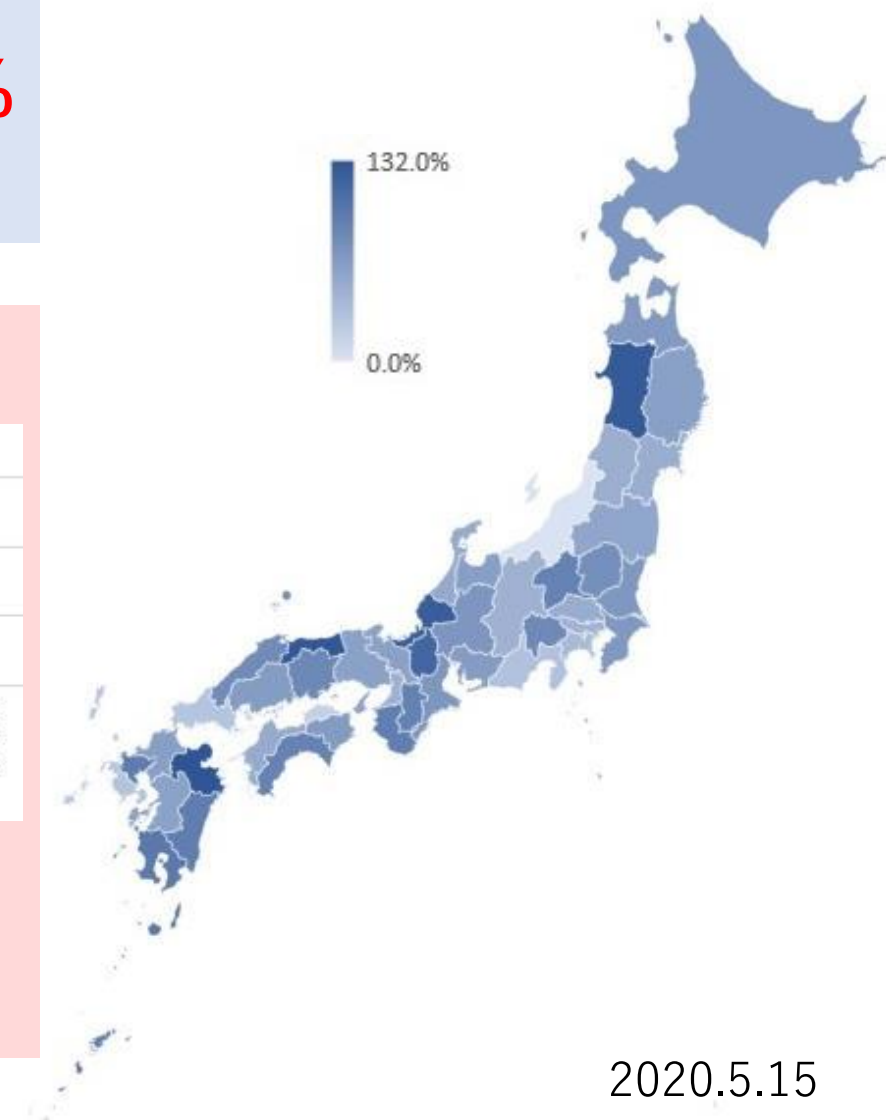
都道府県別



2020年1月～3月の月平均ABL施行数に対する、4月のABL数の割合を示す。

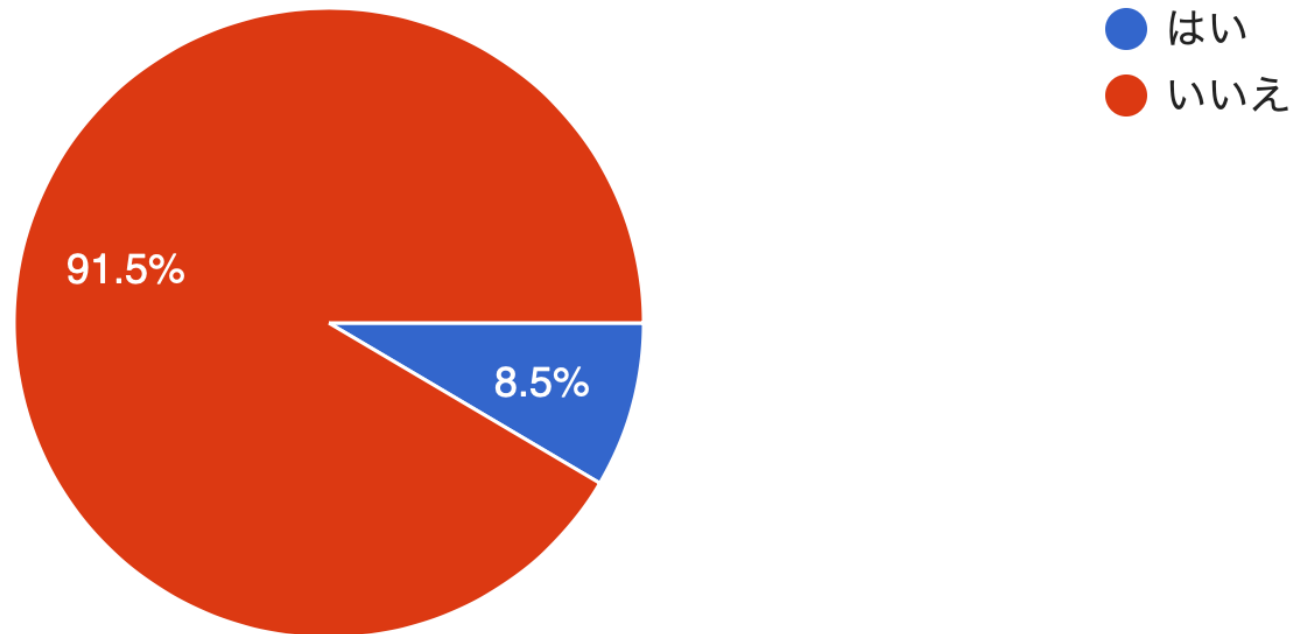
(4月の施行数に変化がなければ、100%となる)

大都市圏でのABL施行数は50%またはそれ以下となり、大きな影響を受けている。

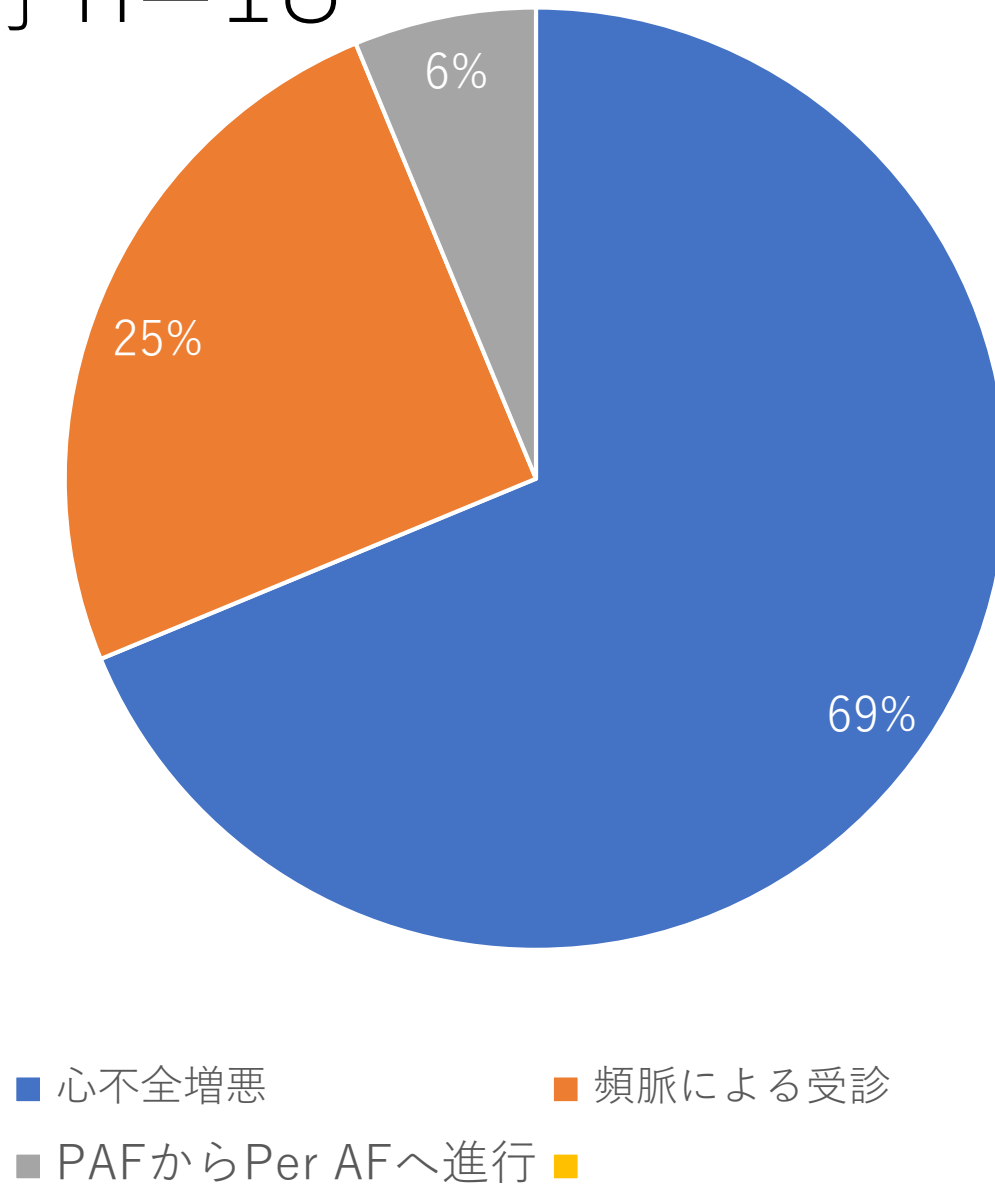


待機したことで、症状が悪化し、予約外受診になったり、入院が必要になったケースはありますか？

212 件の回答

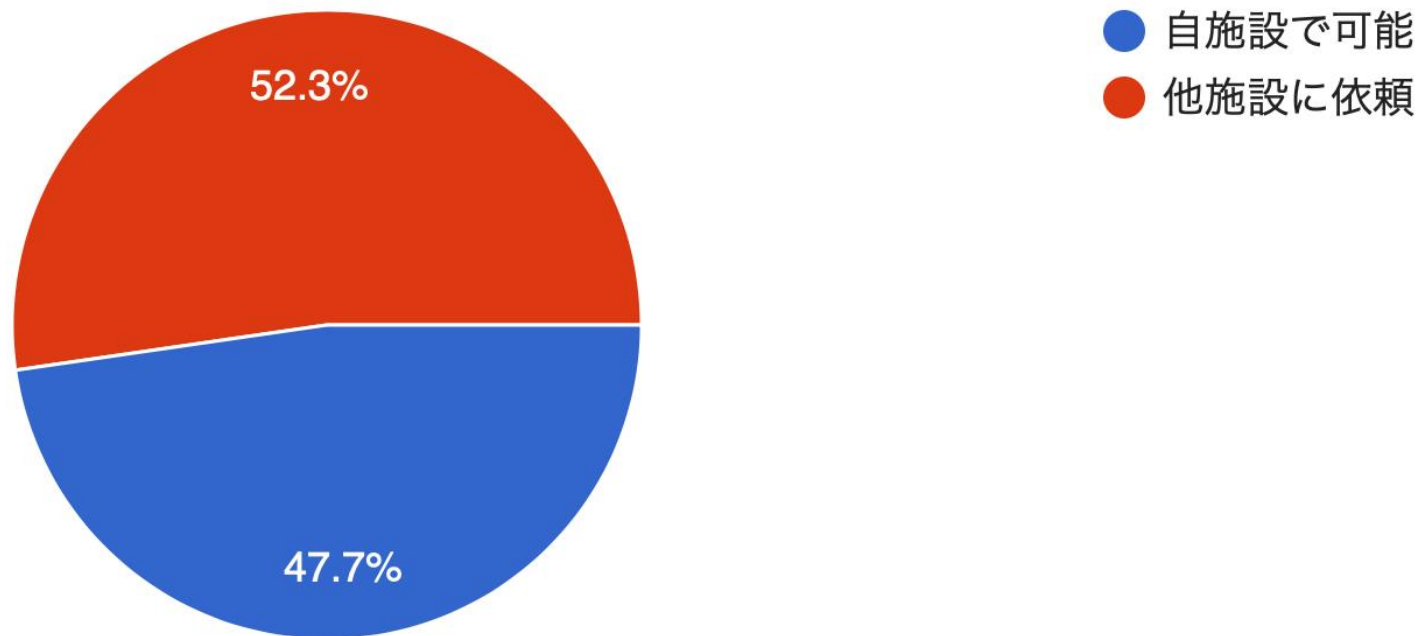


症状増悪例 n=18



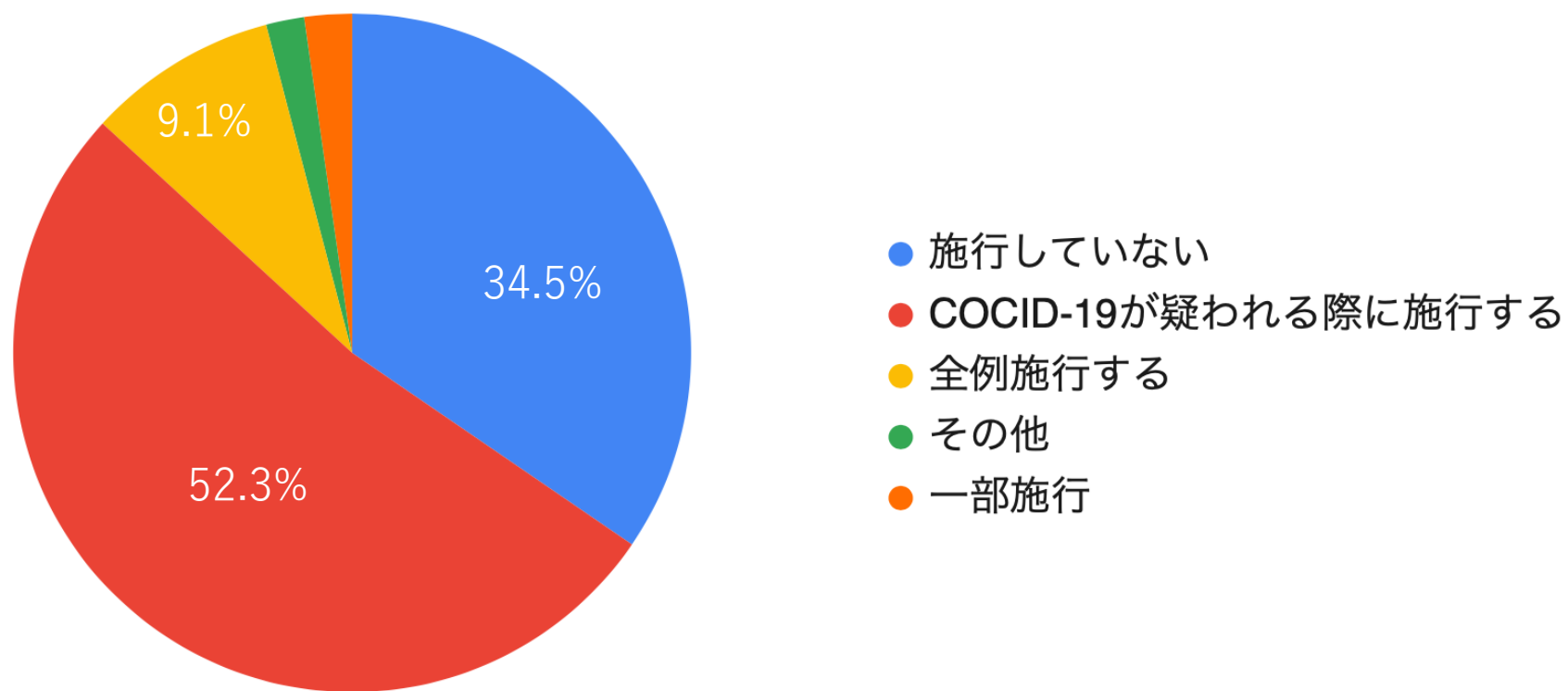
PCR検査の状況について、教えてください

218 件の回答



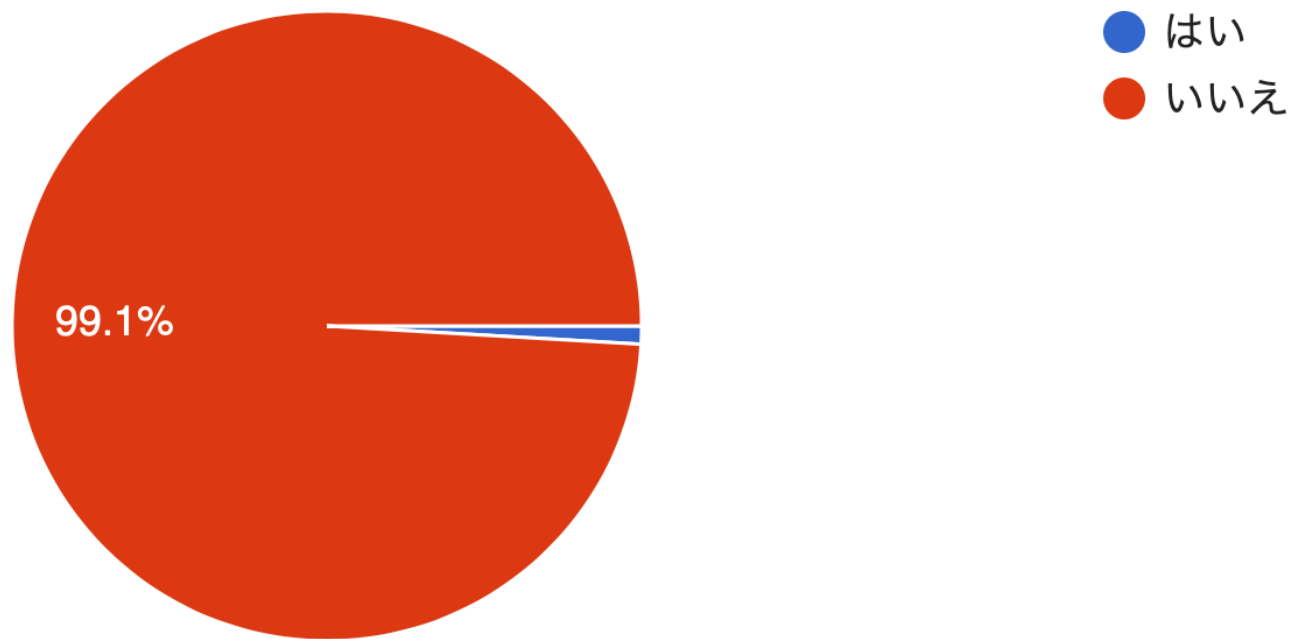
入院患者（不整脈治療）におけるPCR検査について

217 件の回答



COVID-19陽性例での不整脈治療の経験はございますか？

217 件の回答

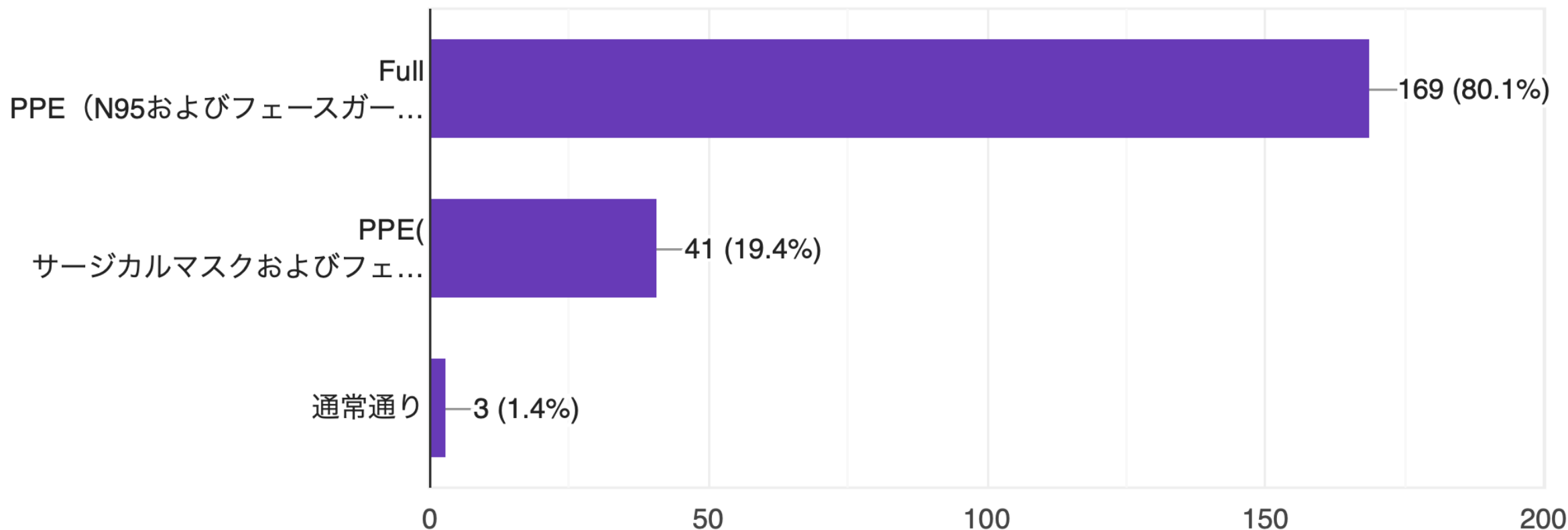


- ・ 重症肺炎患者の房室ブロックに対して、スワンガンツ型一時的ペースメーカを挿入
- ・ COVID陽性者が救急外来で突然の洞停止、心停止 緊急 t PM挿入

以下状況でのPPE使用について教えてください

COVID-19疑い例

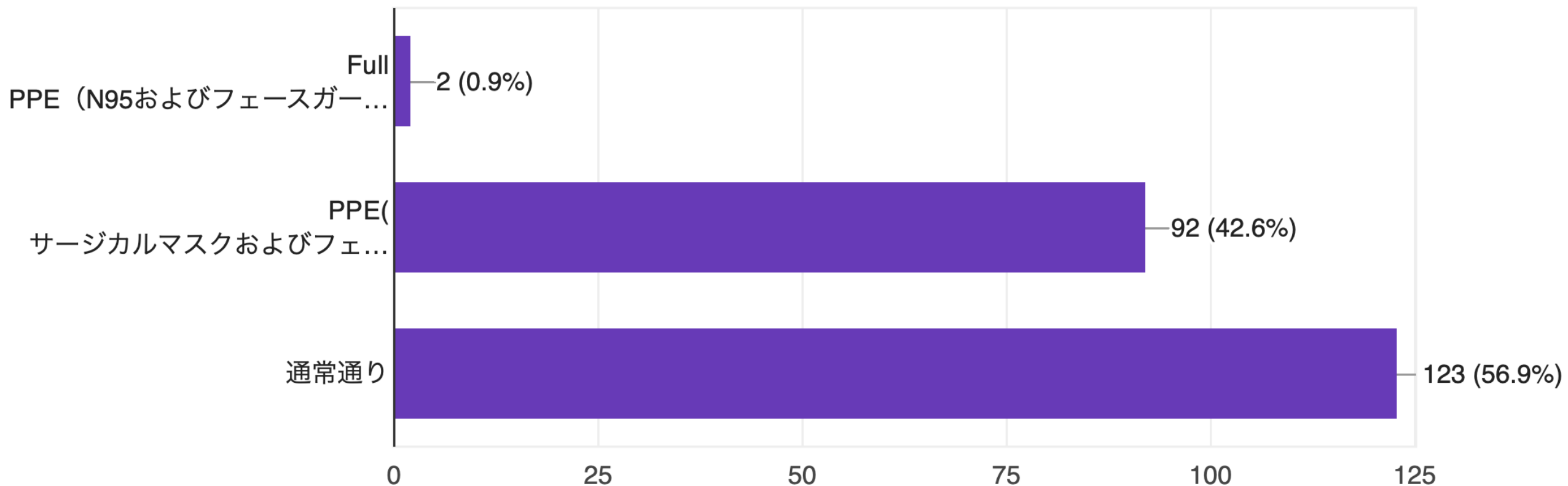
211 件の回答



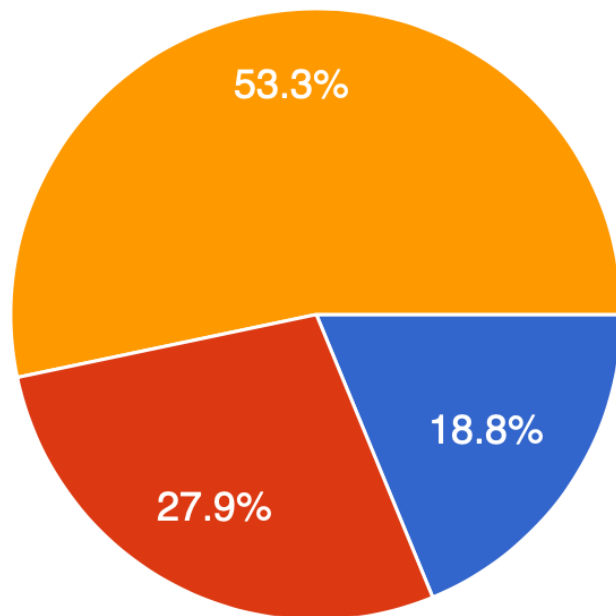
以下状況でのDDE估用について教えてください

COVID-19を疑わない例

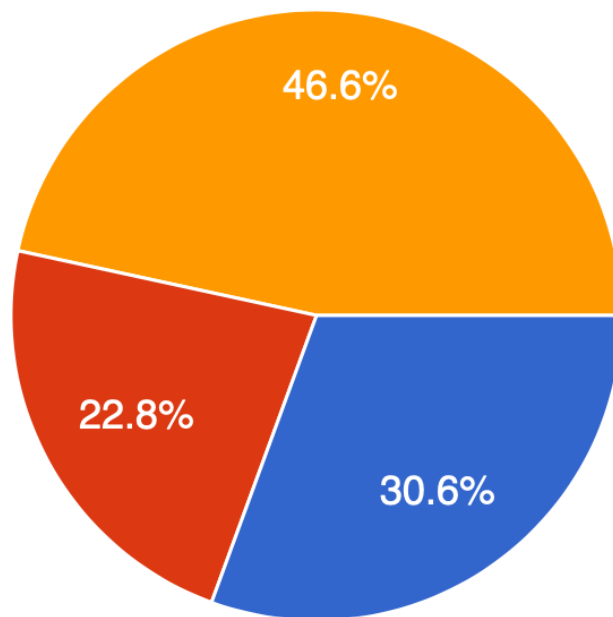
216 件の回答



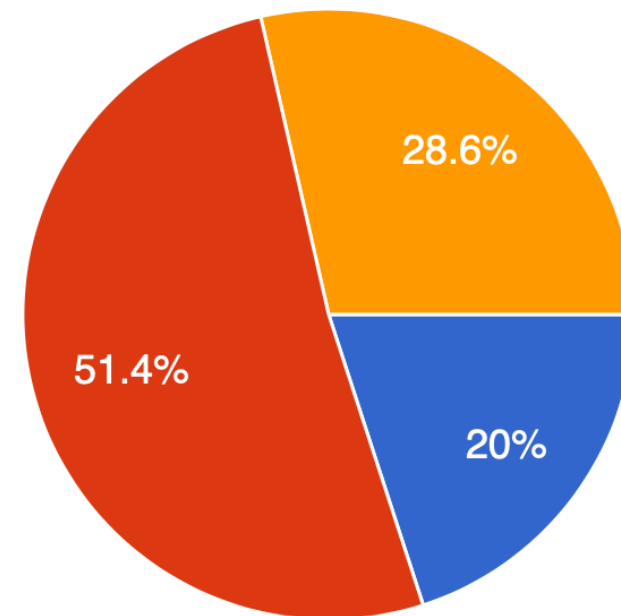
N95



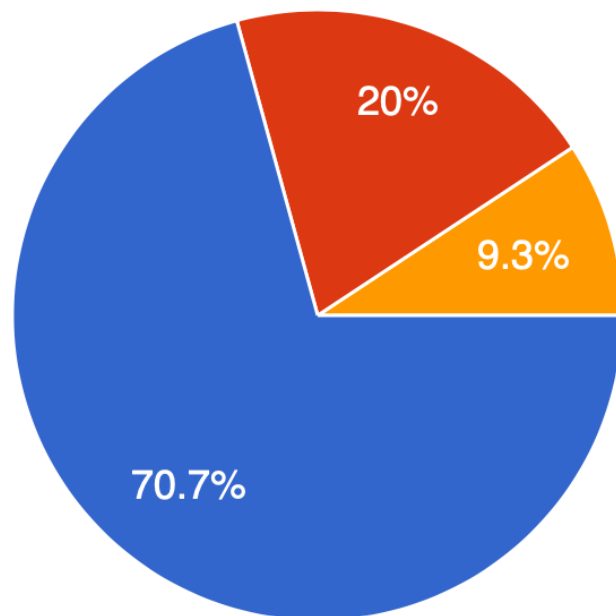
フェイスシールド



サージカルマスク



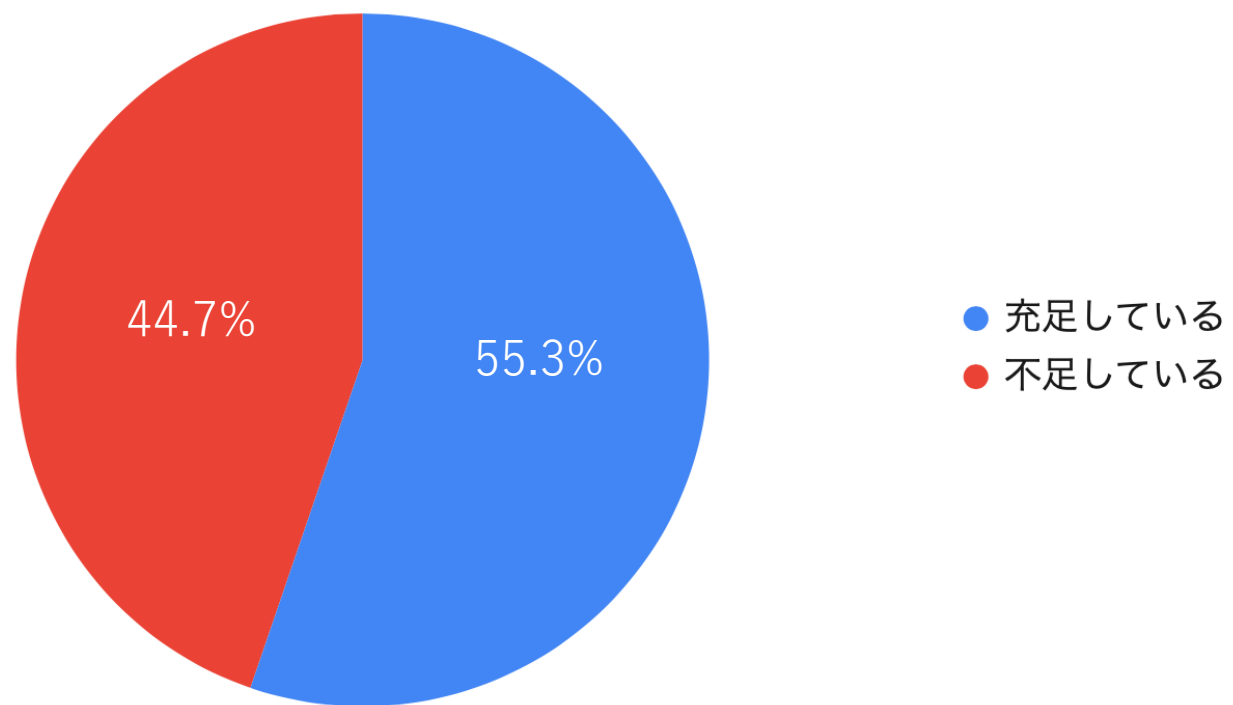
医療用ガウン (PPE用)



- 毎回交換している
- 1日1回交換している
- 1日以上使用している

手術用ガウン

217 件の回答



コメント 代表例

- ガウンやマスクが在庫分しかないので、不足することが予想される。
- 待機的アブレーション症例をいつまで延期させるか（いつから再開させるかとその段階）について
- AFは経食道心エコーが必須なため、他チームの医師とも調整が必要で、大変です。
- 当院ではアブレーション時の呼吸管理にASV（エアロゾル発生リスク高）を使用しているため、万が一患者に感染者がいた場合にその後に濃厚接触者がでてしまう可能性を心配しています
- 県外施設への診療支援がしづらい状況となっている
- COVID対応のため診療にあたる人員減となっている
- アブレーションの件数が減っており、クライオアブレーションの使用ができなくなりそうです。
- 病院収入が激減しています。
- 学会がないことで情報不足となっております。 Zoomによるinternet学会も今後あるかもしれませんが、しかし、日中の勤務時間内での聴講は出張扱いとならないと思いますので参加が難しいかなと思います。

JHRS COVID-19に関するアンケート調査

- アブレーションについては地域を問わず4月は減少、5月の予定をさらに制限しているとコメント
- デバイスは関東、関西地方で減少、その他の地域は変わらない
- 80%の施設でCOVID-19の診療をしており、75%の施設で待期的アブレーションを制限している
- 回答施設の8.5%で、症状悪化例を経験（AFによるCHFが多い）
- PCRは約半数の施設で、自施設で施行可能、入院患者全例で施行しているのは、9.1%のみ
- 感染予防具について、N95、フェイスシールドが不足、外科用ガウンが不足している施設も40%、今後在庫が限られくるというコメントも多い

JHRS COVID-19アンケート調査から

- JHRSからの提言に基づき、待期的手技を制限いただいた
- アブレーション施行施設の多くでCOVID-19の受け入れを行っており、これも日常の治療を制限する要因になっている可能性がある
- 待期したことによる症状増悪例が少なからず存在、必要な治療ができていない可能性
- PCR検査は、約半数の施設のみ可能
- 医療資材の不足はまだまだ解消される見込みがない